

2022年12月6日発行の物流ニッポンでラッシング武蔵をご紹介します。



結一産業◆ラッシングベルト

荷物傷付くりリスク回避

結一産業（松本良生社長、塚市北区）は、二股式イスによって金具の位置を長きの調整が可能なラッシングベルト「ラッシング武蔵」を開発、販売している。固定ベルトが1対1で、ラッシング武蔵はポリエチレン製で、ベルト長が50cm、フックはJ型、I型の2種類があり、調整ベルトは5、6、7股式のラッシングベルトは3種を用意、使用荷重800kg、破断荷重3千kgと化に踏み切った。

固定ベルトは1対の場合が多く、短めの固定ベルトを付けたい時は別途注文になることがあり、コストも朝高になりがちだという。二股式のラッシングベルトは需要が多いと見込み、製品化に踏み切った。

同社は、主に建設副資材の開発、販売をしている。金属加工を手掛ける顧客からの「荷締めする際にベルトの金属部分に荷物が当たってしまい困っている」という声を受け、製品開発に着手。事前にに行った調査では、固定ベルトの長さを要えることで、金具を荷物に当たらない箇所に移動できる。ラッシング武蔵はポリエチレン製で、ベルト長が50cm、フックはJ型、I型の2種類があり、調整ベルトは5、6、7股式のラッシングベルトは3種を用意、使用荷重800kg、破断荷重3千kgと化に踏み切った。

固定ベルトの長さを要えることで、金具を荷物に当たらない箇所に移動できる。ラッシング武蔵はポリエチレン製で、ベルト長が50cm、フックはJ型、I型の2種類があり、調整ベルトは5、6、7股式のラッシングベルトは3種を用意、使用荷重800kg、破断荷重3千kgと化に踏み切った。

二股式で金具位置変更

を固定するための金具を用意したほか、I型フックには1人でも荷締めしやすいようにゴム製の「外れ止めサポート」を付属。作業時の利便性を重視した。

松本社長は「建設業界も物流業界も、人手不足や省力化が課題となっている。当社は建設副資材をメインとするが、開発前のヒアリングを十分に行い、利便性向上に努めた。物流事業者でも活用しやすい製品だと考えている。荷締めをはじめとした作業時の困り事の解消につなげられれば」と話している。（無須見）

出典 株式会社物流ニッポン新聞社

